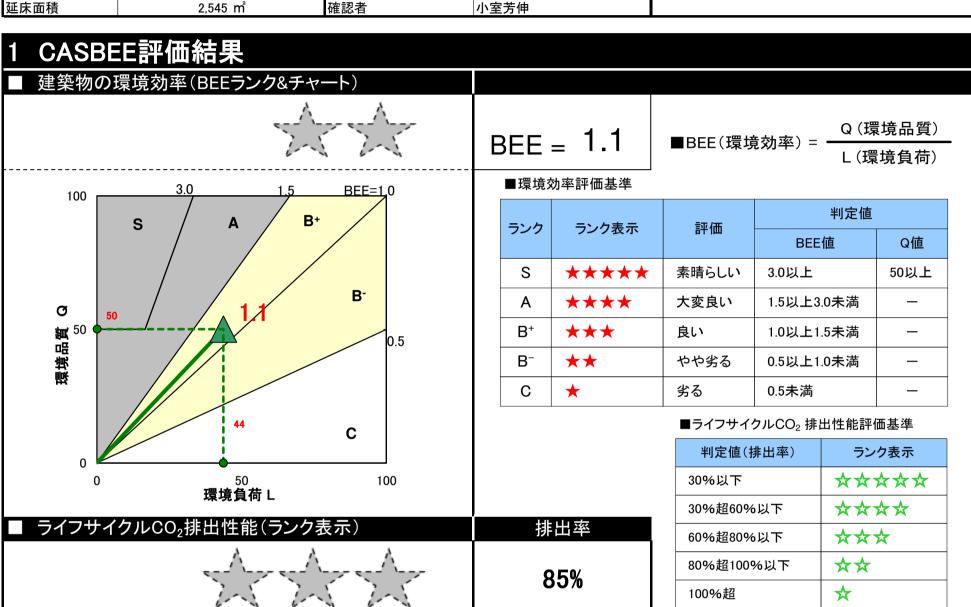
(/\SBEE[®]熊本《新築》【性能表示】

■ 建物概要				■ 外観
建物名称	八代拘置支所	階数	地上2F	
建設地	熊本県八代市	—— 構造	RC造	
用途地域	近隣商業地域、準防火地域	平均居住人員	67 人	
気候区分	地域区分V	年間使用時間	8,760 時間/年	
建物用途	病院,	評価の段階	実施設計段階評価	
竣工年	2015年7月 予定	評価の実施日	2014年3月10日	
敷地面積	4,618 m [*]	—— 作成者	小室芳伸	
建築面積	1,629 m [*]	確認日	2014年3月10日	
延床面積	2,545 m ²	確認者	小室芳伸	



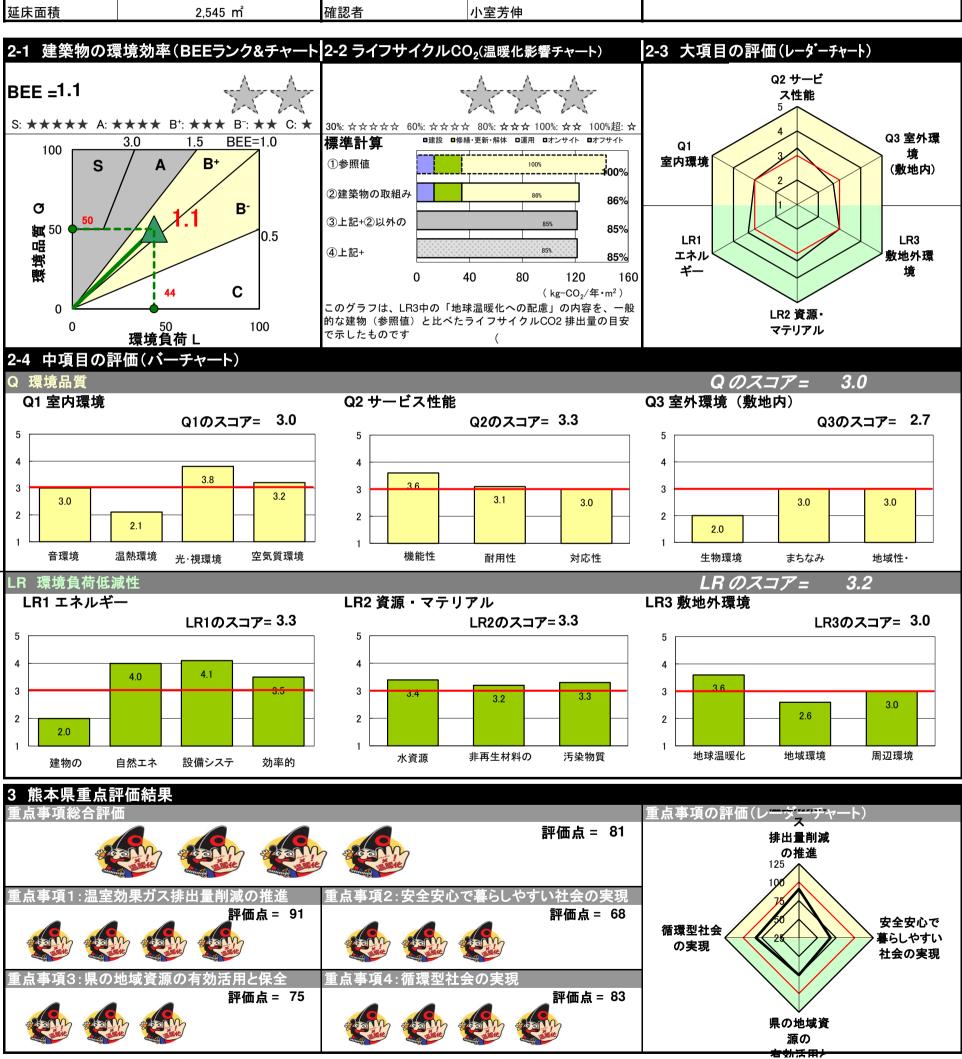
2 熊本県重点評価結果								
■ 重点事項総合評価			評価点					
TOOM TOOM TOOM	e contraction of the contraction		81					
	評価点	■熊本県重点評価基準						
【重点事項1】 温室効果ガス排出量削減の推進	90.7	判定値(評価点)	ランク表示					
【重点事項2】安全安心で暮らしやすい社会の実現	67.5	100点以上	66666					
【主点事項2】 女主女心で各分しですい社会の夫式	07.5	80点以上100点未満						
【重点事項3】 県の地域資源の有効活用と保全	75.0	60点以上80点未満	6 6					
 【重点事項4】循環型社会の実現	83.2	40点以上60点未満	6					
		40点未満						
	上が推奨です。							

Page: 1/4 Sheet: 1/5

(//SBEE®熊本《新築》【評価結果】

■使用評価マニュアル: CASBEE-新築 (簡易版) 2010年版 使用評価ソフト: CASBEE-NCb_2010(v.1.3)





- ■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency(建築環境総合性能評価システム)
- ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
- ■「ライフサイクルCO2」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと ■評価対象のライフサイクルCO2排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

Page: 2/4 Sheet: 2/5

CASBEE-新築(簡易版)2010年版 ■使用評価マニュアル CASBEE-新築(簡易版) 2010年版 *八代拘置支所* 欄に数値またはコメントを記入 ■評価ソフト: CASBEE-NCb 2010(v.1.3) 実施設計段階 スコアシート 建物全体 共用部分 住居·宿泊部分 配慮項目 環境配慮設計の概要記入欄 全体 重み 重み 評価点 評価点 係数 係数 Q 建築物の環境品質 3.0 Q1 室内環境 0.40 3.0 1 音環境 3.0 0.15 3.0 1.00 3.0 0.40 0.40 1.1 騒音 3.0 1 室内騒音レベル 3.0 1.00 3.0 1.00 2 設備騒音対策 1.2 遮音 3.0 0.40 3.0 0.40 1 開口部遮音性能 3.0 0.40 3.0 0.30 界壁遮音性能 3.0 0.60 3.0 0.30 界床遮音性能(軽量衝擊源) 0.20 3.0 3.0 4 界床遮音性能(重量衝擊源) 0.20 3.0 3.0 1.3 吸音 3.0 0.20 3.0 0.20 2 温熱環境 2.2 0.35 2.0 1.00 2.1 2.1 室温制御 0.50 2.2 1.8 0.50 1 室温 1.0 0.38 1.0 0.57 2 負荷変動·追従制御性 外皮性能 3.0 0.25 3.0 0.43 4 ゾーン別制御性 3.0 0.38 5 温度・湿度制御 6 個別制御 7 時間外空調に対する配慮 8 監視システム 2.2 湿度制御 0.20 0.20 1.0 1.0 2.3 空調方式 3.0 0.30 0.30 3.0 3 光•視環境 3.9 0.25 1.00 3.8 3.6 3.1 昼光利用 5.0 0.30 4.2 0.30 診察室 8.9% 一般待合室 4.9% 居室 3.6% 1 昼光率 5.0 0.60 5.0 0.60 2 方位別開口 3.0 建物全体・共用部にトップライトを設置 3 昼光利用設備 5.0 0.40 3.0 0.40 4.0 3.2 グレア対策 0.30 4.0 0.30 1 照明器具のグレア 2 昼光制御 1階はブラインドに加え上階廊下庇、2階は庇とスクリーン設置 1.00 4.0 4.0 1.00 3 映り込み対策 3.3 照度 3.0 0.15 3.0 0.15 3.4 照明制御 0.25 0.25 3.0 3.0 4 空気質環境 3.3 0.25 3.2 1.00 3.2 0.50 4.1 発生源対策 3.0 3.0 0.63 1 化学汚染物質 3.0 1.00 3.0 1.00 2 アスベスト対策 3 ダニ・カビ等 レジオネラ対策 4.2 換気 4.0 0.30 3.6 0.38 1 換気量 3.0 0.50 3.0 0.33 2 自然換気性能 3.0 3.0 0.33 汚染源のない方向に設け、各種排気口から6m以上離して設置 3 取り入れ外気への配慮 5.0 0.50 5.0 0.33 4 給気計画 4.3 運用管理 0.20 CO₂の監視 1 3.0 2 喫煙の制御 3.0 1.00 Q2 サービス性能 0.30 3.3 1機能性 3.9 0.40 2.4 1.00 3.6 0.60 1.1 機能性・使いやすさ 3.0 0.40 1.0 広さ・収納性 3.0 1.0 1.00 高度情報通信設備対応 3.0 3.0 1.00 3 バリアフリー計画 3.0 1.2 心理性・快適性 5.0 0.30 4.5 0.40 1 広さ感・景観 0.50 2 リフレッシュスペース 3.0 評価する取組のうち4つの項目に該当する 3 内装計画 5.0 1.00 5.0 0.50 1.3 維持管理 0.30 4.0 充実した取組をしている 1 維持管理に配慮した設計 0.50 5.0 2 維持管理用機能の確保 3.0 0.50 3 衛生管理業務 3.1 0.31 2 耐用性・信頼性 3.1 2.1 耐震·免震 3.0 0.48 1 耐震性 3.0 0.80 2 免震・制振性能 0.20 3.0 2.2 部品・部材の耐用年数 0.33 3.1 1 躯体材料の耐用年数 3.0 0.23 2 外壁仕上げ材の補修必要間隔 0.23 2.0 3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔 20年以上 0.09 5.0 4 空調換気ダクトの更新必要間隔 ステンレスダクトなど長寿命化を図っている 5.0 0.08 空調・給排水配管の更新必要間隔 3.0 0.15 6 主要設備機器の更新必要間隔 3.0 0.23

Page: 1/2 Sheet: 4/5

2.4 世紀では、日本の日本				1		-	1	•	
1 全体 海外の音					-	-	-	-	
2 世界本事を報告 30 0.00		2.4					-	-	
日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日							-	-	
本 株成 元寸左右方法 お存する物値をつしている				三世十7日かりナッペープレス			-	-	
1 無性の情報 四年の日本				評価する取組を2つしている			-	-	
3 日本作・原格性							-	-	
3. 日間の世代日 1		<u> </u>		評価する取組を2つしている				-	
1 対象の外とリ	3	,							3.0
② 空間の砂がと呼曲性 3.0		3.1						i	
3.2 有等のかと対 1 空間をで見が性 3.0 0.5 0.8 1 空間をで見が性 3.0 0.7 2 性が大型の関性 3.0 0.7 3 は気にのが新生 3.0 0.7 5 など機構の反射性 3.0 0.7 6 パックアラスペースの接援 3.0 0.2 7 パックアラスペースの接援 3.0 0.2 7 パックアラスペースの接援 3.0 0.2 8 大型機構の保全全制出 2.0 0.3 9 大型性域の保全全制出 2.0 0.3 1 性物域の保全全制出 2.0 0.3 1 性物域の保全を制出 2.0 0.3 1 性物域の保全を制出 2.0 0.3 3 大型性・アニアイへの配理 3.0 0.5 3 大型性・アニアイへの連接 3.0 0.5 3 大型性・アニアイへの連接 3.0 0.5 3 大型性・アニアイへの連接 3.0 0.5 3 大型性・アニアイへの連接 3.0 0.5 3 大型性・アニアイへの直接 3.0 0.5 3 大型性・アニアイへの直接 3.0 0.5 4 大型性・アニアイの配理 3.0 0.5 5 大型の放射性 2.0 0.3 6 大型の放射性 2.0 0.3 7 大型の放射性 2.0 0.3 8 大型・アニアイの配理 3.0 0.5 1 大型を対象が表現れた・のき、表現 3.0 0.5 2 大型の放射性 3.0 0.5 2 大型の放射性 3.0 0.5 4 大型の放射性 4.0 0.5 4 大型・大型・アンティーの直接 4.0 0.5 4 大型・大型・アンティーの直接 4.0 0.5 4 大型・大型・アンティーの直接 4.0 0.5 4 大型・大型・アンティーの 4.1 0.5 5 大型・アンティー 4.1 0.5 6 大型・アンティー 4.1 0.5 7 大型・大型・アンティー 4.1 0.5 7 大型・大型・アンティー 4.1 0.5 8 大型・アンティー 4.1 0.5 8 大型・アンティー 4.1 0.5 9 大型・アンティー 4.1 0.5 1 大型・大型・アンティー 4.1 0.5 2 大型・大型・アンティー 4.1 0.5 1 大型・大型・アンティー 4.1 0.5 2 大型・大型・アンティー 4.1 0.5 1 大型・大型・アンティー 4.1 0.5 1 大型・大型・アンティー 4.1 0.5 2 大型・大型・アンティー 4.1 0.5 2 大型・大型・アンティー 4.1 0.5 2 大型・大型・大型・大型・大型・大型・大型・大型・大型・大型・大型・大型・大型・大						0.60			
33 ②使の受害性					3.0		3.0	0.40	
1 算数を受けるの支持性		3.2	? 荷重のゆとり		3.0	0.31	3.0	0.50	
2 年前水市の支軽性 3.0 0.17 1		3.3	3_設備の更新性		3.0	0.38	-	-	
3 年代の日の安新性					3.0	0.17	-	-	
4 版の表は伊野学性 3.0 0.22 - 1 -			2 給排水管の更新性		3.0	0.17	-	-	
1			3 電気配線の更新性		3.0	0.11	-	-	
1			4 通信配線の更新性		3.0	0.11	-	-	
(20 全の主義権を動物)			5 設備機器の更新性		3.0	0.22	-	-	
1 生態環境の管金 2割性 2.0 0.30 - 2.0 2.0 2.5 ならみ 2巻 (1.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0			6 バックアップスペースの確保		3.0	0.22	-	-	
2 きちなか-最後への配慮 3.0 0.10 - 3.0 3 地域でナライへの配慮 3.0 0.30 - 3.0 0.50 - 3.0 1 建築物の取扱業食権配減性 - - 0.00 - 3.0 0.50 - 3.3 1 財産の無負債用制 - - 0.04 - 3.3 1.0 - 3.3 2 自然本ルギーの宣標制用 ンプライトを検官 4.0 0.05 - 4.0 0.05 - 4.0 0.05 - 4.0 0.05 - 4.0 0.05 - 4.0 0.05 - 4.0 0.05 - 4.0 0.05 - 4.0 0.05 - 4.0 0.05 - 4.0 0.05 - 4.0 0.05 - 4.0 0.05 - 4.1 0.0 0.0 - 4.1 0.0 0.0 - 4.1 1.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0	Q3	室外3	環境(敷地内)		_	0.30	-	-	2.7
2 きちなか-最後への配慮 3.0 0.10 - 3.0 3 地域でナライへの配慮 3.0 0.30 - 3.0 0.50 - 3.0 1 建築物の取扱業食権配減性 - - 0.00 - 3.0 0.50 - 3.3 1 財産の無負債用制 - - 0.04 - 3.3 1.0 - 3.3 2 自然本ルギーの宣標制用 ンプライトを検官 4.0 0.05 - 4.0 0.05 - 4.0 0.05 - 4.0 0.05 - 4.0 0.05 - 4.0 0.05 - 4.0 0.05 - 4.0 0.05 - 4.0 0.05 - 4.0 0.05 - 4.0 0.05 - 4.0 0.05 - 4.0 0.05 - 4.1 0.0 0.0 - 4.1 0.0 0.0 - 4.1 1.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0					2.0	0.30	-	-	2.0
3 単株性・アメニティへの配像 3.0 0.30 - 3.0 3.0	_						-	-	
3.1 地域をへの起流、快着性の向上 3.2 単独門高階級関かの由上 3.2 単独門高階級関かの由上 3.2 単独門高階級関かの由上 3.2 単独門高階級関かの由上 3.3 0 0.50 - 3.2 1 建物の際負用物 20 0.30 - 2.0 2 個数エスルギー間 40 0.50 - 4.0 2 個数エスルギーの原発用 20 0.30 - 4.0 3 2 世界エスルギーの自発利用 20 0.50 - 4.0 3 2 世界エスルギーの原発用 20 0.50 - 4.0 4 1 0.50 - 4.1 第合性型の外の原作 (RPIT上を影響) 20 0.50 - 4.1 第合性型の呼順 3 0 0.50 - 4.1 4 1 モニタリング 4 2 画目連接動 2月、維持、保全の基本方針が計画されている 4 1 0.30 - 4.1 4 1 モニタリング 4 2 画目連接動 3月、維持、保全の基本方針が計画されている 4 0 0.50 - 3.5 4 2 画型連接動 2月、維持、保全の基本方針が計画されている 4 0 0.50 - 3.5 4 2 画型連接動 3月、維持、保全の基本方針が計画されている 4 0 0.50 - 3.5 4 2 国際技術を対象が開門 3 0 0.50 - 3.5 1							-	-	
3.2 参担の日本経験性の向上							-	-	
日本学術の環境負債所統性							_	-	
1 時効の動食病別解	LB	•							3.2
1 健物の終負の影響 2.0 0.30						0.40			
2 自然エネルギーの直接利用 2.1 自然エネルギーの直接利用 大陽光泉でパネルを置 (A) 0.50 4.0 0.50 4.0 3 健康システムの高効果化 ※会社を必好評価(ERRICよら評価) ※会社を必好評価(ERRICよら評価) ※会社を必好評価(ERRICよら評価) ※会社を必好評価(ERRICよら評価) ※信託を必要を担 3.0 4.1 0.30 4.1 4 放棄が選出を必要を 1.1 下が 2.2 運用でプリル 1.2 両末利用・財本等の利用 2.1 同末利用・財本等の利用 2.1 同末利用・財本等の利用 2.1 同末利用・財本等の利用 2.2 両末利用・財本等の利用 2.2 両末利用・財本等の利用 2.2 両末利用・財本等の利用 2.2 両末利用・財本等の利用 2.2 両末利用・財本等の利用 2.2 両末利用・財本等の利用 2.2 両末利用・財本等の利用 2.2 財務が実施のを押書制理 2.2 自然を利用とファムの有無 2.2 財務が実施のを押書制理 2.2 自然を利用とファムの有無 2.2 財務が実施のを押書制理 2.2 自然を発展されるのを持用 2.2 財務が実施のを用書制度 2.2 自然を対したのの情報 2.2 対核を利用と対すのプリルのの使用 2.2 財務を利用と対すのプリルのの機 3.0 0.20 3.2 0.68 3.2 0.68 2 非常性を開発の情報 2.2 対核を利用に対すがプリナイクルがの使用 2.2 対核を利用と対すのとのの機 3.2 0.20 3.2 0.00 3.2 0.00 3 持続関連を持有が使用の機構 3.2 コン・ロンの回標 2.2 地表開業のの配置 3.2 コン・ロンの回標 3.3 1 地域・実施性の心を 2.2 無差の回標 3.3 0.00 3.3 0.00 1 用水・財産の配置 2.2 地表開業のの配置 3.3 日本のの配置 2.2 地表開業のの配置 3.3 日本の配置 3.3 世界の配置 3.3 世界の配置 3			•		-	0.1.10	-	-	
2.1 自然エルルギーの登録利用				 			-	-	
2.2 自然エネルギーの変換利用	2			トップラフトを記案				-	4.0
3 教育システムの高効率化 技術システムの高効率化を図っている 4.1 0.30				–			-	-	
#会住宅UPの評価(ERRILES 40	_						-	-	
集合性空の評価 3.5	3	設備シ				0.30	-	-	4.1
4 年 1 年 2 9 1 2 5 1 2 2 0 - 3.5 3 1 2 2 0 - 3.5 3 1 2 2 0 - 3.5 3 1 2 2 0 - 3.5 3 1 2 2 0 - 3.5 3 1 2 2 0 - 3.5 3 1 2 2 0 - 3 3 3 1 2 2 1 大質摩機機				ERR=18.8%			-		
4.1 モニタリング 4.2 正形色理体制 運用、維持、保全の基本方針が計画されている 4.0 0.50 - 1 1.1 放大	_	<u> </u>					-		
4.2 変用管理体制	4						-	-	3.5
Reg				VED CO. AMALES. JOS A. J. M. J			-	-	
1、大賞養保護		_		連用、維持、保全の基本方針が計画されている	4.0		-	-	
1.1 節水					_	0.30	-	-	3.3
1.2 南水利用・送排水管の利用	1				3.4	0.15	-	-	3.4
1 雨水料門システム導入の有無 3.0 0.67 - - 3.0 0.33 - - 3.0 0.33 - - 3.0 0.33 - - 3.0 0.33 - - 3.0 0.24 - - 3.0 0.24 - <t< th=""><th></th><th></th><th></th><th>節水コマに加えて省水型機器を設置</th><th>4.0</th><th>0.40</th><th>-</th><th>-</th><th></th></t<>				節水コマに加えて省水型機器を設置	4.0	0.40	-	-	
2 無非朱等利用システム導入の有無 3.0 0.33 - - 3.2 3.5 3.2 3.6 3.2 3.5 3.2 3.6 3.2 3.5 3.2 3.5 3.2 3.5 3.2 3.5 3.2 3.5 3.2 3.5 3.2 3.5 3.2 3.5 3.2 3.5 3.2 3.5 3.2 3.5 3.2 3.2 3.5 3.2 3.5 3.2 3.2 3.2 3.2 3.2 3.3 3.2 3.2 3.3 3.3 3.2 3.2 3.3 3.3 3.2 3.3 3		1 1 2	T - 사이 B 생생·사석 스테 B						
2 非再生性質器の使用量削減 3.2 0.65 - 3.2		'.~	【		3.0	0.60	-	-	
2.1 材料使用量の削減 2.0 0.07		'					- -	- -	
2.2 既存建築躯体等の継続使用 3.0 0.24		1.2	1 雨水利用システム導入の有無		3.0	0.67	- - -	- - -	
2.3 躯体材料におけるリナイクル材の使用 3.0 0.20 - - 2.4 非構造材料におけるリナイクル材の使用 2.0 0.05 - - 2.6 節材の再利用可能性向上への取組み 3.0 0.024 - - 3 汚染物質含者材料の使用回避 3.3 0.22 - - 3.1 有書物質を含まない材料の使用 4.0 0.32 - - 1 消火剤 2 発泡剤(断熱材等) 3.0 0.50 - - 1 地球温暖化への配慮 3.6 0.33 - - 3.0 2.1 大気汚染防止 2.2 2.2 温熱環境悪化の改善 2.6 0.33 - - 2.6 2.3 地域・フラーの食荷抑制 3.6 0.25 -	2		1 雨水利用システム導入の有無 2 雑排水等利用システム導入の有無		3.0 3.0	0.67 0.33	- - -	- - -	3.2
2.4 非構造材料におけるリサイクル材の使用 本質フローリング、ビニル床材、量 5.0 0.20 -	2	非再生	1 雨水利用システム導入の有無 2 雑排水等利用システム導入の有無 生性資源の使用量削減		3.0 3.0 3.2	0.67 0.33 0.63	- - -	- - - -	3.2
2.5 持続可能な森林から産出された木材 2.6 部材の再利用可能性向上への取組み 5完勢物質含有材料の使用回避 2.6 部材の再利用可能性向上への取組み 3.3 0.22 - 3.3 3.3 0.22 - 3.3 3.1 有害物質を含まない材料の使用 3.1 消火利 2 発泡剤(断熱材等) 2 発泡剤(断熱材等) 3.0 0.50 - 2 発泡剤(断熱材等) 3.0 0.50 - 3.0 0.68 - 3.0 0.50 - 3.0 1 地球灌嫌への配慮 3.6 0.33 - 3.6 0.33 - 3.6 0.33 - 3.6 0.25 - 2.6 0.33 - 3.6 0.25 - 2.6 0.33 - 3.6 0.25 - 3.6 0.25 - 3.0 0.50 - 3.	2	非再生 2.1	1 雨水利用システム導入の有無 2 雑排水等利用システム導入の有無 生性資源の使用量削減 材料使用量の削減		3.0 3.0 3.2 2.0	0.67 0.33 0.63 0.07	- - - -	- - - - -	3.2
2.6 部材の乗利用可能性向上への取組み 3.0 0.24 - - 3.3 0.22 - - 3.3 0.22 - - 3.3 0.22 - - 3.3 0.22 - - 3.3 0.22 - - 3.3 0.22 - - 3.3 0.22 - - 3.3 0.22 - - 3.3 0.22 - - 3.3 0.22 - - 3.3 0.22 - - 3.3 0.20 -	2	非再生 2.1 2.2 2.3	1 雨水利用システム導入の有無 2 雑排水等利用システム導入の有無 生性資源の使用量削減 材料使用量の削減 2 既存建築躯体等の継続使用 3 躯体材料におけるリサイクル材の使用	_	3.0 3.0 3.2 2.0 3.0	0.67 0.33 0.63 0.07 0.24	- - - - -	- - - -	3.2
3 万染物質含有材料の使用回避 3.3 0.22 - 3.3 3.3 3.2 - 3.3 3.3 3.2 - 3.3 3.3 3.2 - 3.3 3.3 3.2 - 3.3 3.3 3.2 - 3.3 3.3 3.2 - 3.3 3.3 3.2 - 3.3 3.3 3.2 - 3.3 3.3 3.2 - 3.3 3.3 3.2 - 3.3 3.3 3.0 3	2	非再生 2.1 2.2 2.3	1 雨水利用システム導入の有無 2 雑排水等利用システム導入の有無 生性資源の使用量削減 材料使用量の削減 2 既存建築躯体等の継続使用 3 躯体材料におけるリサイクル材の使用	- - 木質フローリング、ビニル床材、畳	3.0 3.0 3.2 2.0 3.0 3.0	0.67 0.33 0.63 0.07 0.24 0.20	- - - - - -	- - - - - -	3.2
3.1 有害物質を含まない材料の使用 2	2	非再生 2.1 2.2 2.3 2.4	1 雨水利用システム導入の有無 2 雑排水等利用システム導入の有無 生性資源の使用量削減 材料使用量の削減 2 既存建築躯体等の継続使用 3 躯体材料におけるリサイクル材の使用 1 非構造材料におけるリサイクル材の使用	_ _ 木質フローリング、ビニル床材、畳	3.0 3.0 3.2 2.0 3.0 3.0 5.0	0.67 0.33 0.63 0.07 0.24 0.20 0.20	- - - - - - -	- - - - - -	3.2
3.1 有害物質を含まない材料の使用 2	2	非再生 2.1 2.2 2.3 2.4 2.5	1 雨水利用システム導入の有無 2 雑排水等利用システム導入の有無 生性資源の使用量削減 材料使用量の削減 2 既存建築躯体等の継続使用 3 躯体材料におけるリサイクル材の使用 非構造材料におけるリサイクル材の使用 5 持続可能な森林から産出された木材	ー 木質フローリング、ビニル床材、畳	3.0 3.0 3.2 2.0 3.0 3.0 5.0 2.0	0.67 0.33 0.63 0.07 0.24 0.20 0.20 0.05	- - - - - - - -	- - - - - - -	3.2
3.2 フロン・ハロンの回避		非再生 2.1 2.2 2.3 2.4 2.5 2.6	1 雨水利用システム導入の有無 2 雑排水等利用システム導入の有無 生性資源の使用量削減 材料使用量の削減 2 既存建築躯体等の継続使用 3 躯体材料におけるリサイクル材の使用 4 非構造材料におけるリサイクル材の使用 5 持続可能な森林から産出された木材 6 部材の再利用可能性向上への取組み	ー 木質フローリング、ビニル床材、畳	3.0 3.0 3.2 2.0 3.0 3.0 5.0 2.0 3.0	0.67 0.33 0.63 0.07 0.24 0.20 0.20 0.05 0.24	- - - - - - - -	- - - - - - - -	
消火剤		非再生 2.1 2.2 2.3 2.4 2.5 2.6 万杂软	1 雨水利用システム導入の有無 2 雑排水等利用システム導入の有無 生性資源の使用量削減 材料使用量の削減 2 既存建築躯体等の継続使用 3 躯体材料におけるリサイクル材の使用 1 非構造材料におけるリサイクル材の使用 5 持続可能な森林から産出された木材 6 部材の再利用可能性向上への取組み 物質含有材料の使用回避		3.0 3.0 3.2 2.0 3.0 3.0 5.0 2.0 3.0 3.3	0.67 0.33 0.63 0.07 0.24 0.20 0.20 0.05 0.24	- - - - - - - - -	- - - - - - - - -	
2 発泡剤(断熱材等) 3.0 0.50		非再生 2.1 2.2 2.3 2.4 2.5 2.6 汚染物	1 雨水利用システム導入の有無 2 雑排水等利用システム導入の有無 生性資源の使用量削減 1 材料使用量の削減 2 既存建築躯体等の継続使用 3 躯体材料におけるリサイクル材の使用 1 非構造材料におけるリサイクル材の使用 5 持続可能な森林から産出された木材 6 部材の再利用可能性向上への取組み物質含有材料の使用回避 1 有害物質を含まない材料の使用		3.0 3.0 3.2 2.0 3.0 3.0 5.0 2.0 3.0 3.3	0.67 0.33 0.63 0.07 0.24 0.20 0.20 0.05 0.24 0.22	- - - - - - - - -	- - - - - - - - - - -	
Table Ta		非再生 2.1 2.2 2.3 2.4 2.5 2.6 汚染物	1 雨水利用システム導入の有無 2 雑排水等利用システム導入の有無 生性資源の使用量削減 材料使用量の削減 2 既存建築躯体等の継続使用 3 躯体材料におけるリサイクル材の使用 1 非構造材料におけるリサイクル材の使用 5 持続可能な森林から産出された木材 6 部材の再利用可能性向上への取組み物質含有材料の使用回避 1 有害物質を含まない材料の使用 2 フロン・ハロンの回避		3.0 3.0 3.2 2.0 3.0 3.0 5.0 2.0 3.0 3.3	0.67 0.33 0.63 0.07 0.24 0.20 0.20 0.05 0.24 0.22	- - - - - - - - - - -	- - - - - - - - - -	
LR3 敷地外環境		非再生 2.1 2.2 2.3 2.4 2.5 2.6 汚染物	1 雨水利用システム導入の有無 2 雑排水等利用システム導入の有無 生性資源の使用量削減 材料使用量の削減 2 既存建築躯体等の継続使用 3 躯体材料におけるリサイクル材の使用 1 非構造材料におけるリサイクル材の使用 5 持続可能な森林から産出された木材 6 部材の再利用可能性向上への取組み物質含有材料の使用回避 有害物質を含まない材料の使用 2 フロン・ハロンの回避 1 消火剤		3.0 3.0 3.2 2.0 3.0 3.0 5.0 2.0 3.0 3.3 4.0	0.67 0.33 0.63 0.07 0.24 0.20 0.05 0.24 0.22 0.32 0.68	- - - - - - - - - - -	- - - - - - - - - -	
1 地球温暖化への配慮 3.6 0.33 - 3.6 2 地域環境への配慮 2.6 0.33 - 2.6 2.1 大気汚染防止 3.0 0.25 2.6 2.2 温熱環境悪化の改善 2.0 0.50 2.6 2.3 地域インフラへの負荷抑制 3.6 0.25 2.6 1 雨水排水負荷低減 3.0 0.33 2.6 2 汚水処理負荷抑制 3.0 0.33 2.6 3 角辺環境への配慮 3.0 0.33 2.6 3 周辺環境への配慮 3.0 0.33 2.6 3.1 騒音・振動・悪臭の防止 3.0 0.33 3.0 1 騒音・振動・悪臭の防止 3.0 0.40 2.6 2 振動 2.6 3.0 3.0 3.2 風害・砂塵・日照阻害の抑制 3.0 0.40 2.6 1 風害の抑制 3.0 0.40 2.6 2 砂塵の抑制 3.0 0.30 2.6 3 日照阻害の抑制 3.0 0.30 2.6 3.0 3.0 0.30 2.6 3.0 0.30 2.6 - 2.6 3.0 0.30 2.7 - 2.6		非再生 2.1 2.2 2.3 2.4 2.5 2.6 汚染物	1 雨水利用システム導入の有無 2 雑排水等利用システム導入の有無 生性資源の使用量削減 材料使用量の削減 2 既存建築躯体等の継続使用 3 躯体材料におけるリサイクル材の使用 非構造材料におけるリサイクル材の使用 持続可能な森林から産出された木材 6 部材の再利用可能性向上への取組み物質含有材料の使用回避 有害物質を含まない材料の使用 2 フロン・ハロンの回避 1 消火剤 2 発泡剤(断熱材等)		3.0 3.2 2.0 3.0 3.0 5.0 2.0 3.0 3.3 4.0 3.0	0.67 0.33 0.63 0.07 0.24 0.20 0.05 0.24 0.22 0.32 0.68	- - - - - - - - - - - -	- - - - - - - - - - - - - - -	
2 地域環境への配慮 2.6 0.33 - 2.6 2.1 大気汚染防止 3.0 0.25 2.6 2.2 温熱環境悪化の改善 2.0 0.50 2.6 2.3 地域インラへの負荷抑制 3.6 0.25 2.6 2 汚水処理負荷抑制 3.0 0.33 2.6 3 交通負荷抑制 3.0 0.33 2.6 4 廃棄物処理負荷抑制 3.0 0.33 2.6 3.1 騒音・振動・悪臭の防止 3.0 0.33 3.0 1 騒音・振動・悪臭の防止 3.0 0.40 3.0 2 振動 3.0 1.00	3	非再生 2.1 2.2 2.3 2.4 2.5 2.6 汚染物 3.1 3.2	1 雨水利用システム導入の有無 2 雑排水等利用システム導入の有無 生性資源の使用量削減 材料使用量の削減 2 既存建築躯体等の継続使用 3 躯体材料におけるリサイクル材の使用 4 非構造材料におけるリサイクル材の使用 5 持続可能な森林から産出された木材 6 部材の再利用可能性向上への取組み物質含有材料の使用回避 有害物質を含まない材料の使用 2 フロン・ハロンの回避 1 消火剤 2 発泡剤(断熱材等) 3 冷媒		3.0 3.2 2.0 3.0 3.0 5.0 2.0 3.0 3.3 4.0 3.0	0.67 0.33 0.63 0.07 0.24 0.20 0.05 0.24 0.22 0.32 0.68 - 0.50	- - - - - - - - - - - -	- - - - - - - - - - - -	3.3
2.1 大気汚染防止 3.0 0.25 - - 2.2 温熱環境悪化の改善 2.0 0.50 - - 2.3 地域インフラへの負荷抑制 3.6 0.25 - - 1 雨水排水負荷低減 - - - - - 2 汚水処理負荷抑制 3.0 0.33 - - - 4 廃棄物処理負荷抑制 3.0 0.33 -	3 LR3	非再生 2.1 2.2 2.3 2.4 2.5 2.6 汚染物 3.1 3.2	1 雨水利用システム導入の有無 2 雑排水等利用システム導入の有無 生性資源の使用量削減 材料使用量の削減 2 既存建築躯体等の継続使用 3 躯体材料におけるリサイクル材の使用 4 非構造材料におけるリサイクル材の使用 5 持続可能な森林から産出された木材 6 部材の再利用可能性向上への取組み 物質含有材料の使用回避 有害物質を含まない材料の使用 2 フロン・ハロンの回避 1 消火剤 2 発泡剤(断熱材等) 3 冷媒 外環境		3.0 3.0 3.2 2.0 3.0 3.0 5.0 2.0 3.0 3.3 4.0 3.0 - 3.0 3.0 - 3.0 3.0	0.67 0.33 0.63 0.07 0.24 0.20 0.05 0.24 0.22 0.32 0.68 - 0.50 0.50	- - - - - - - - - - - - - -	- - - - - - - - - - - - - -	3.3
2.2 温熱環境悪化の改善 2.0 0.50 - - 2.3 地域インフラへの負荷抑制 3.6 0.25 - - 1 雨水排水負荷低減 - - - - 3 交通負荷抑制 3.0 0.33 - - 4 廃棄物処理負荷抑制 3.0 0.33 - - 3.1 騒音・振動・悪臭の防止 3.0 0.40 - - 1 騒音 3.0 0.40 - - 2 振動 3.0 0.40 - - 3 悪臭 - - - - 3.2 風害・砂塵・日照阻害の抑制 3.0 0.40 - - 1 風害の抑制 3.0 0.70 - - 3 日照阻害の抑制 3.0 0.30 - - 3 日照阻害の抑制 3.0 0.30 - - 3 日際の抑制 3.0 0.20 - - 3 日際の損害の抑制 3.0 0.20 - - 3 日際の損害の抑制 3.0 0.20 - - 3 日際の損害の損害の損害の損害の損害の損害の損害の損害の損害の損害の損害の損害の損害の	3 LR3 1	非再生 2.1 2.2 2.3 2.4 2.5 2.6 万染物 3.1 3.2	1 雨水利用システム導入の有無 2 雑排水等利用システム導入の有無 生性資源の使用量削減 材料使用量の削減 2 既存建築躯体等の継続使用 3 躯体材料におけるリサイクル材の使用 1 非構造材料におけるリサイクル材の使用 5 持続可能な森林から産出された木材 6 部材の再利用可能性向上への取組み 物質含有材料の使用回避 1 有害物質を含まない材料の使用 2 フロン・ハロンの回避 1 消火剤 2 発泡剤(断熱材等) 3 冷媒 外環境 温暖化への配慮		3.0 3.0 3.2 2.0 3.0 3.0 5.0 2.0 3.0 3.3 4.0 3.0 - 3.0 3.0 - 3.6	0.67 0.33 0.63 0.07 0.24 0.20 0.05 0.24 0.22 0.32 0.68 - 0.50 0.50 0.33	- - - - - - - - - - - - -	- - - - - - - - - - - - - - -	3.3 3.0 3.6
2.3 地域インフラへの負荷抑制 3.6 0.25 - - 1 雨水排水負荷低減 - - - - 2 汚水処理負荷抑制 3.0 0.33 - - 3 度物処理負荷抑制 3.0 0.33 - - 3 周辺環境への配慮 3.0 0.33 - - 3.1 騒音・振動・悪臭の防止 3.0 0.40 - - 1 騒音 - - - - 2 振動 - - - - 3 悪臭 3.0 0.40 - - 3.0 0.40 - - - 2 砂塵の抑制 3.0 0.40 - - 3 日照阻害の抑制 3.0 0.70 - - 3 日照阻害の抑制 3.0 0.30 - - 3.3 光害の抑制 3.0 0.20 - - 1 屋外開明及び屋内間明のうち外に漏れる先への対策 3.0 0.70 - -	3 LR3 1	非再生 2.1 2.2 2.3 2.4 2.5 2.6 汚染物 3.1 3.2	1 雨水利用システム導入の有無 2 雑排水等利用システム導入の有無 生性資源の使用量削減 材料使用量の削減 2 既存建築躯体等の継続使用 3 躯体材料におけるリサイクル材の使用 3 躯体材料におけるリサイクル材の使用 5 持続可能な森林から産出された木材 6 部材の再利用可能性向上への取組み物質含有材料の使用回避 有害物質を含まない材料の使用 2 フロン・ハロンの回避 1 消火剤 2 発泡剤(断熱材等) 3 冷媒 外環境 温暖化への配慮 環境への配慮		3.0 3.2 2.0 3.0 3.0 5.0 2.0 3.0 3.3 4.0 3.0 - 3.0 3.0 - 3.0 3.0	0.67 0.33 0.63 0.07 0.24 0.20 0.05 0.24 0.22 0.32 0.68 - 0.50 0.50 0.33	- - - - - - - - - - - - - - - - - - -	- - - - - - - - - - - - - - - - - - -	3.3 3.0 3.6
1 雨水排水負荷低減	3 LR3 1	非再生 2.1 2.3 2.4 2.5 2.6 污染物 3.1 3.2 地域现 2.1	1 雨水利用システム導入の有無 2 雑排水等利用システム導入の有無 生性資源の使用量削減 材料使用量の削減 2 既存建築躯体等の継続使用 3 躯体材料におけるリサイクル材の使用 4 非構造材料におけるリサイクル材の使用 5 持続可能な森林から産出された木材 6 部材の再利用可能性向上への取組み物質含有材料の使用回避 有害物質を含まない材料の使用 2 フロン・ハロンの回避 1 消火剤 2 発泡剤(断熱材等) 3 冷媒 外環境 温暖化への配慮 環境への配慮 環境への配慮 環境への配慮 大気汚染防止		3.0 3.0 3.2 2.0 3.0 3.0 5.0 2.0 3.0 3.3 4.0 3.0 - 3.0 3.0 - 3.0 3.0 - 3.0 3.0 - 3.0 3.0	0.67 0.33 0.63 0.07 0.24 0.20 0.05 0.24 0.22 0.32 0.68 - 0.50 0.50 0.30 0.33 0.33	- - - - - - - - - - - - - - - -		3.3 3.0 3.6
2 汚水処理負荷抑制 3.0 0.33 - - 3 交通負荷抑制 5.0 0.33 - - 4 廃棄物処理負荷抑制 3.0 0.33 - - 3 周辺環境への配慮 3.0 0.33 - - 3.0 3.1 騒音・振動・悪臭の防止 3.0 0.40 - - - 1 騒音・振動・悪臭 - <	3 LR3 1	非再生 2.1 2.2 2.3 2.4 2.5 2.6 污染物 3.1 3.2 地域迅 也域现 2.1 2.2	1 雨水利用システム導入の有無 2 雑排水等利用システム導入の有無 生性資源の使用量削減 材料使用量の削減 2 既存建築躯体等の継続使用 3 躯体材料におけるリサイクル材の使用 5 持続可能な森林から産出された木材 6 部材の再利用可能性向上への取組み 物質含有材料の使用回避 有害物質を含まない材料の使用 2 フロン・ハロンの回避 1 消火剤 2 発泡剤(断熱材等) 3 冷媒 外環境 温暖化への配慮 環境への配慮 環境への配慮 環境への配慮 2 温熱環境悪化の改善		3.0 3.0 3.2 2.0 3.0 3.0 5.0 2.0 3.0 3.3 4.0 3.0 - 3.6 2.6 3.0 2.0	0.67 0.33 0.63 0.07 0.24 0.20 0.05 0.24 0.22 0.32 0.68 - 0.50 0.30 0.33 0.33 0.25 0.50	- - - - - - - - - - - - - - - - - - -		3.3 3.0 3.6
3 交通負荷抑制 評価する取組み表の評価ポイントが4つ 5.0 0.33 - - 4 廃棄物処理負荷抑制 3.0 0.33 - - 3.0 3.1 騒音・振動・悪臭の防止 3.0 0.40 - - 1 騒音 3.0 1.00 - - 2 振動 - - - - 3 悪臭 - - - - 3.2 風害・砂塵・日照阻害の抑制 3.0 0.40 - - 1 風害の抑制 3.0 0.70 - - 3 日照阻害の抑制 3.0 0.30 - - 3.3 光害の抑制 3.0 0.20 - - 1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策 3.0 0.70 - -	3 LR3 1	非再生 2.1 2.2 2.3 2.4 2.5 2.6 污染物 3.1 3.2 地域迅 也域现 2.1 2.2	1 雨水利用システム導入の有無 2 雑排水等利用システム導入の有無 生性資源の使用量削減 材料使用量の削減 2 既存建築躯体等の継続使用 3 躯体材料におけるリサイクル材の使用 1 非構造材料におけるリサイクル材の使用 5 持続可能な森林から産出された木材 6 部材の再利用可能性向上への取組み 物質含有材料の使用回避 1 有害物質を含まない材料の使用 2 フロン・ハロンの回避 1 消火剤 2 発泡剤(断熱材等) 3 冷媒 外環境 温暖化への配慮 環境への配慮 環境への配慮 大気汚染防止 2 温熱環境悪化の改善 3 地域インフラへの負荷抑制		3.0 3.0 3.2 2.0 3.0 3.0 5.0 2.0 3.0 3.3 4.0 3.0 - 3.6 2.6 3.0 2.0	0.67 0.33 0.63 0.07 0.24 0.20 0.05 0.24 0.22 0.32 0.68 - 0.50 0.30 0.33 0.33 0.25 0.50	- - - - - - - - - - - - - - - - - - -	- - - - - - - - - - - - - - - - - - -	3.3 3.0 3.6
4 廃棄物処理負荷抑制 3.0 0.33	3 LR3 1	非再生 2.1 2.2 2.3 2.4 2.5 2.6 污染物 3.1 3.2 地域迅 也域现 2.1 2.2	1 雨水利用システム導入の有無 2 雑排水等利用システム導入の有無 生性資源の使用量削減 材料使用量の削減 2 既存建築躯体等の継続使用 3 躯体材料におけるリサイクル材の使用 3 躯体材料におけるリサイクル材の使用 5 持続可能な森林から産出された木材 6 部材の再利用可能性向上への取組み物質含有材料の使用回避 有害物質を含まない材料の使用 2 フロン・ハロンの回避 1 消火剤 2 発泡剤(断熱材等) 3 冷媒 外環境 温暖化への配慮 環境への配慮 環境への配慮 「大気汚染防止 2 温熱環境悪化の改善 3 地域インフラへの負荷抑制 1 雨水排水負荷低減		3.0 3.0 3.2 2.0 3.0 3.0 5.0 2.0 3.0 3.3 4.0 3.0 - 3.0 3.0 - 3.6 2.6 3.0 2.0 3.6 -	0.67 0.33 0.63 0.07 0.24 0.20 0.05 0.24 0.22 0.32 0.68 - 0.50 0.30 0.33 0.33 0.25 0.50 0.25 -	- - - - - - - - - - - - - - - - - - -		3.3 3.0 3.6
3 周辺環境への配慮 3.0 0.33 - - 3.0 3.1 騒音・振動・悪臭の防止 3.0 1.00 - - 2 振動 - - - - 3 悪臭 - - - - 1 風害の抑制 3.0 0.40 - - 2 砂塵の抑制 3.0 0.70 - - 3 日照阻害の抑制 3.0 0.30 - - 3.3 光害の抑制 3.0 0.20 - - 1 屋外照明及び屋内照明のうちかに漏れる光への対策 3.0 0.70 - -	3 LR3 1	非再生 2.1 2.2 2.3 2.4 2.5 2.6 污染物 3.1 3.2 地域迅 也域现 2.1 2.2	1 雨水利用システム導入の有無 2 雑排水等利用システム導入の有無 生性資源の使用量削減 材料使用量の削減 2 既存建築躯体等の継続使用 3 躯体材料におけるリサイクル材の使用 5 持続可能な森林から産出された木材 6 部材の再利用可能性向上への取組み物質含有材料の使用回避 有害物質を含まない材料の使用 2 フロン・ハロンの回避 1 消火剤 2 発泡剤(断熱材等) 3 冷媒 外環境 温暖化への配慮 環境への配慮 環境への配慮 「大気汚染防止 2 温熱環境悪化の改善 3 地域インフラへの負荷抑制 1 雨水排水負荷低減 2 汚水処理負荷抑制	塗料および床用接着剤に有害物質を含まない材料の使用	3.0 3.0 3.2 2.0 3.0 3.0 5.0 2.0 3.0 3.3 4.0 3.0 - 3.0 3.0 - 3.6 2.6 3.0 2.0 3.6 - 3.6	0.67 0.33 0.63 0.07 0.24 0.20 0.05 0.24 0.22 0.32 0.68 - 0.50 0.50 0.33 0.33 0.25 0.50 0.25 - 0.33	- - - - - - - - - - - - - - - - - - -		3.0 3.6
3.1 騒音・振動・悪臭の防止 3.0 0.40 - - 1 騒音 3.0 1.00 - - 2 振動 - - - - - 3 悪臭 - - - - - 1 風害の抑制 3.0 0.40 - - 2 砂塵の抑制 3.0 0.70 - - 3 日照阻害の抑制 3.0 0.30 - - 3.3 光害の抑制 3.0 0.20 - - 1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策 3.0 0.70 - -	3 LR3 1	非再生 2.1 2.2 2.3 2.4 2.5 2.6 污染物 3.1 3.2 地域迅 也域现 2.1 2.2	1 雨水利用システム導入の有無 2 雑排水等利用システム導入の有無 生性資源の使用量削減 材料使用量の削減 2 既存建築躯体等の継続使用 3 躯体材料におけるリサイクル材の使用 5 持続可能な森林から産出された木材 6 部材の再利用可能性向上への取組み 物質含有材料の使用回避 有害物質を含まない材料の使用 フロン・ハロンの回避 1 消火剤 2 発泡剤(断熱材等) 3 冷媒 外環境 温暖化への配慮 環境への配慮 環境への配慮 大気汚染防止 2 温熱環境悪化の改善 3 地域インフラへの負荷抑制 1 雨水排水負荷低減 2 汚水処理負荷抑制 3 交通負荷抑制	塗料および床用接着剤に有害物質を含まない材料の使用	3.0 3.0 3.2 2.0 3.0 3.0 5.0 2.0 3.0 3.3 4.0 3.0 - 3.6 2.6 3.0 2.0 3.6 - 3.0 5.0	0.67 0.33 0.63 0.07 0.24 0.20 0.20 0.05 0.24 0.22 0.32 0.68 - 0.50 0.50 0.33 0.33 0.25 0.50 0.25 - 0.33 0.33	- - - - - - - - - - - - - - - - - - -		3.3 3.0 3.6
1 騒音 3.0 1.00 - <td< td=""><th>3 LR3 1 2</th><td>非再生 2.1 2.2 2.3 2.4 2.5 2.6 污染物 3.1 3.2 地域斑 2.1 2.2 2.3</td><td>1 雨水利用システム導入の有無 2 雑排水等利用システム導入の有無 生性資源の使用量削減 材料使用量の削減 2 既存建築躯体等の継続使用 3 躯体材料におけるリサイクル材の使用 非構造材料におけるリサイクル材の使用 持続可能な森林から産出された木材 お 部材の再利用可能性向上への取組み 物質含有材料の使用回避 有害物質を含まない材料の使用 2 フロン・ハロンの回避 1 消火剤 2 発泡剤(断熱材等) 3 冷媒 外環境 温暖化への配慮 環境への配慮 環境への配慮 大気汚染防止 2 温熱環境悪化の改善 3 地域インフラへの負荷抑制 1 雨水排水負荷低減 2 汚水処理負荷抑制 3 交通負荷抑制 4 廃棄物処理負荷抑制</td><td>塗料および床用接着剤に有害物質を含まない材料の使用</td><td>3.0 3.0 3.2 2.0 3.0 3.0 5.0 2.0 3.0 3.3 4.0 3.0 - 3.0 3.0 - 3.6 2.6 3.0 2.0 3.6 - 3.0 3.0 - 3.6 - 3.0 3.0 3.0 - 3.6 3.0 3.0 - 3.6 3.0 3.0 3.0</td><td>0.67 0.33 0.63 0.07 0.24 0.20 0.05 0.24 0.22 0.32 0.68 - 0.50 0.30 0.33 0.33 0.25 0.50 0.25 - 0.33 0.33 0.33 0.33</td><td>- - - - - - - - - - - - - - - - - - -</td><td></td><td>3.0 3.6 2.6</td></td<>	3 LR3 1 2	非再生 2.1 2.2 2.3 2.4 2.5 2.6 污染物 3.1 3.2 地域斑 2.1 2.2 2.3	1 雨水利用システム導入の有無 2 雑排水等利用システム導入の有無 生性資源の使用量削減 材料使用量の削減 2 既存建築躯体等の継続使用 3 躯体材料におけるリサイクル材の使用 非構造材料におけるリサイクル材の使用 持続可能な森林から産出された木材 お 部材の再利用可能性向上への取組み 物質含有材料の使用回避 有害物質を含まない材料の使用 2 フロン・ハロンの回避 1 消火剤 2 発泡剤(断熱材等) 3 冷媒 外環境 温暖化への配慮 環境への配慮 環境への配慮 大気汚染防止 2 温熱環境悪化の改善 3 地域インフラへの負荷抑制 1 雨水排水負荷低減 2 汚水処理負荷抑制 3 交通負荷抑制 4 廃棄物処理負荷抑制	塗料および床用接着剤に有害物質を含まない材料の使用	3.0 3.0 3.2 2.0 3.0 3.0 5.0 2.0 3.0 3.3 4.0 3.0 - 3.0 3.0 - 3.6 2.6 3.0 2.0 3.6 - 3.0 3.0 - 3.6 - 3.0 3.0 3.0 - 3.6 3.0 3.0 - 3.6 3.0 3.0 3.0	0.67 0.33 0.63 0.07 0.24 0.20 0.05 0.24 0.22 0.32 0.68 - 0.50 0.30 0.33 0.33 0.25 0.50 0.25 - 0.33 0.33 0.33 0.33	- - - - - - - - - - - - - - - - - - -		3.0 3.6 2.6
2 振動	3 LR3 1 2	非再生 2.1 2.2 2.3 2.4 2.5 2.6 75杂物 3.1 3.2 敷地 域现 2.1 2.2 2.3	1 雨水利用システム導入の有無 2 雑排水等利用システム導入の有無 生性資源の使用量削減 材料使用量の削減 2 既存建築躯体等の継続使用 3 躯体材料におけるリサイクル材の使用 3 非構造材料におけるリサイクル材の使用 5 持続可能な森林から産出された木材 6 部材の再利用可能性向上への取組み物質含有材料の使用回避 有害物質を含まない材料の使用 2 フロン・ハロンの回避 1 消火剤 2 発泡剤(断熱材等) 3 冷媒 外環境 温暖化への配慮 環境への配慮 環境への配慮 大気汚染防止 2 温熱環境悪化の改善 3 地域インフラへの負荷抑制 1 雨水排水負荷低減 2 汚水処理負荷抑制 3 交通負荷抑制 3 交通負荷抑制 4 廃棄物処理負荷抑制 環境への配慮 環境への配慮	塗料および床用接着剤に有害物質を含まない材料の使用	3.0 3.0 3.2 2.0 3.0 3.0 5.0 2.0 3.0 3.3 4.0 3.0 - 3.0 3.0 - 3.6 2.6 3.0 2.0 3.6 - 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0	0.67 0.33 0.63 0.07 0.24 0.20 0.20 0.05 0.24 0.22 0.32 0.68 - 0.50 0.30 0.33 0.33 0.25 0.50 0.25 - 0.33 0.33 0.33 0.33 0.33	- - - - - - - - - - - - - - - - - - -		3.0 3.6 2.6
3 悪臭	3 LR3 1 2	非再生 2.1 2.2 2.3 2.4 2.5 2.6 75杂物 3.1 3.2 敷地 域现 2.1 2.2 2.3	1 雨水利用システム導入の有無 2 雑排水等利用システム導入の有無 生性資源の使用量削減 材料使用量の削減 2 既存建築躯体等の継続使用 3 躯体材料におけるリサイクル材の使用 3 躯体材料におけるリサイクル材の使用 5 持続可能な森林から産出された木材 6 部材の再利用可能性向上への取組み物質含有材料の使用回避 有害物質を含まない材料の使用 2 フロン・ハロンの回避 1 消火剤 2 発泡剤(断熱材等) 3 冷媒 外環境 温暖化への配慮 環境への配慮 環境への配慮 環境への配慮 2 活殊決防止 2 温熱環境悪化の改善 3 地域インフラへの負荷抑制 1 雨水排水負荷低減 2 汚水処理負荷抑制 3 交通負荷抑制 3 交通負荷抑制 4 廃棄物処理負荷抑制 6環境への配慮 環境への配慮	塗料および床用接着剤に有害物質を含まない材料の使用	3.0 3.0 3.2 2.0 3.0 3.0 5.0 2.0 3.0 3.3 4.0 3.0 - 3.0 3.0 - 3.6 2.6 3.0 2.0 3.6 - 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0	0.67 0.33 0.63 0.07 0.24 0.20 0.20 0.05 0.24 0.22 0.32 0.68 - 0.50 0.50 0.33 0.33 0.25 0.50 0.25 - 0.33 0.33 0.33 0.33 0.33	- - - - - - - - - - - - - - - - - - -		3.0 3.6 2.6
3.2 風害・砂塵・日照阻害の抑制 3.0 0.40 - </td <th>3 LR3 1 2</th> <td>非再生 2.1 2.2 2.3 2.4 2.5 2.6 75杂物 3.1 3.2 敷地域现 2.1 2.2 2.3</td> <td>1 雨水利用システム導入の有無 2 雑排水等利用システム導入の有無 生性資源の使用量削減 材料使用量の削減 2 既存建築躯体等の継続使用 3 躯体材料におけるリサイクル材の使用 3 躯体材料におけるリサイクル材の使用 5 持続可能な森林から産出された木材 6 部材の再利用可能性向上への取組み物質含有材料の使用回避 有害物質を含まない材料の使用 2 フロン・ハロンの回避 1 消火剤 2 発泡剤(断熱材等) 3 冷媒 外環境 温暖化への配慮 環境への配慮 環境への配慮 大気汚染防止 2 温熱環境悪化の改善 3 地域インフラへの負荷抑制 1 雨水排水負荷低減 2 汚水処理負荷抑制 3 交通負荷抑制 3 交通負荷抑制 4 廃棄物処理負荷抑制 6環境への配慮 「環境への配慮 「環境への配慮 「環境への配慮 「環境への配慮 「騒音・振動・悪臭の防止 」 騒音</td> <td>塗料および床用接着剤に有害物質を含まない材料の使用</td> <td>3.0 3.0 3.2 2.0 3.0 3.0 5.0 2.0 3.0 3.3 4.0 3.0 - 3.0 3.0 - 3.6 2.6 3.0 2.0 3.6 - 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0</td> <td>0.67 0.33 0.63 0.07 0.24 0.20 0.20 0.05 0.24 0.22 0.32 0.68 - 0.50 0.50 0.33 0.33 0.25 0.50 0.25 - 0.33 0.33 0.33 0.33 0.33</td> <td>- - - - - - - - - - - - - - - - - - -</td> <td></td> <td>3.0 3.6 2.6</td>	3 LR3 1 2	非再生 2.1 2.2 2.3 2.4 2.5 2.6 75杂物 3.1 3.2 敷地 域现 2.1 2.2 2.3	1 雨水利用システム導入の有無 2 雑排水等利用システム導入の有無 生性資源の使用量削減 材料使用量の削減 2 既存建築躯体等の継続使用 3 躯体材料におけるリサイクル材の使用 3 躯体材料におけるリサイクル材の使用 5 持続可能な森林から産出された木材 6 部材の再利用可能性向上への取組み物質含有材料の使用回避 有害物質を含まない材料の使用 2 フロン・ハロンの回避 1 消火剤 2 発泡剤(断熱材等) 3 冷媒 外環境 温暖化への配慮 環境への配慮 環境への配慮 大気汚染防止 2 温熱環境悪化の改善 3 地域インフラへの負荷抑制 1 雨水排水負荷低減 2 汚水処理負荷抑制 3 交通負荷抑制 3 交通負荷抑制 4 廃棄物処理負荷抑制 6環境への配慮 「環境への配慮 「環境への配慮 「環境への配慮 「環境への配慮 「騒音・振動・悪臭の防止 」 騒音	塗料および床用接着剤に有害物質を含まない材料の使用	3.0 3.0 3.2 2.0 3.0 3.0 5.0 2.0 3.0 3.3 4.0 3.0 - 3.0 3.0 - 3.6 2.6 3.0 2.0 3.6 - 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0	0.67 0.33 0.63 0.07 0.24 0.20 0.20 0.05 0.24 0.22 0.32 0.68 - 0.50 0.50 0.33 0.33 0.25 0.50 0.25 - 0.33 0.33 0.33 0.33 0.33	- - - - - - - - - - - - - - - - - - -		3.0 3.6 2.6
1 風害の抑制 3.0 0.70 -	3 LR3 1 2	非再生 2.1 2.2 2.3 2.4 2.5 2.6 75杂物 3.1 3.2 敷地 域现 2.1 2.2 2.3	1 雨水利用システム導入の有無 2 雑排水等利用システム導入の有無 生性資源の使用量削減 材料使用量の削減 2 既存建築躯体等の継続使用 3 躯体材料におけるリサイクル材の使用 持続可能な森林から産出された木材 3 部材の再利用可能性向上への取組み 物質含有材料の使用回避 有害物質を含まない材料の使用 2 プロン・ハロンの回避 1 消火剤 2 発泡剤(断熱材等) 3 冷媒 外環境 温暖化への配慮 環境への配慮 顕現ーの配慮 環境への配慮 顕現ーの配慮 環境への配慮 顕現ーの配慮 環境への配慮 顕現ーの配慮 に対対対対対対対対対対対対対対対対対対対対対対対対対対対対対対対対対対対対	塗料および床用接着剤に有害物質を含まない材料の使用	3.0 3.0 3.2 2.0 3.0 3.0 5.0 2.0 3.0 3.3 4.0 3.0 - 3.0 3.0 - 3.6 2.6 3.0 2.0 3.6 - 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0	0.67 0.33 0.63 0.07 0.24 0.20 0.20 0.05 0.24 0.22 0.32 0.68 - 0.50 0.50 0.33 0.33 0.25 0.50 0.25 - 0.33 0.33 0.33 0.33 0.33	- - - - - - - - - - - - - - - - - - -		3.0 3.6 2.6
2 砂塵の抑制 3.0 -	3 LR3 1 2	非再生 2.1 2.2 2.3 2.4 2.5 2.6 3.1 3.2 敷地域现 2.1 2.2 2.3	1 雨水利用システム導入の有無 2 雑排水等利用システム導入の有無 生性資源の使用量削減 材料使用量の削減 2 既存建築躯体等の継続使用 3 躯体材料におけるリサイクル材の使用 3 非構造材料におけるリサイクル材の使用 5 持続可能な森林から産出された木材 6 部材の再利用可能性向上への取組み物質含有材料の使用回避 1 消火剤 2 発泡剤(断熱材等) 3 冷媒 外環境 温暖化への配慮 環境への配慮 環境への配慮 大気汚染防止 2 温熱環境悪化の改善 3 大気汚染防止 2 温熱環境悪化の改善 3 大気汚染防止 2 温熱環境悪化の改善 3 大気汚染防止 2 温熱環境悪化の改善 6 持続可能な森林がら産出された木材 6 部材の使用回避 1 前火剤 2 発泡剤(断熱材等) 3 冷媒 外環境 環境への配慮 ほ 大気汚染防止 2 温熱環境悪化の改善 6 大気汚染防止 2 温熱環境悪化の改善 6 大気汚染防止 6 大気汚染防止 6 大気汚染防止 6 大気汚染防止 6 大気病染防止 6 大気病染が発生 6 大気療養養	塗料および床用接着剤に有害物質を含まない材料の使用	3.0 3.0 3.2 2.0 3.0 3.0 5.0 2.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3	0.67 0.33 0.63 0.07 0.24 0.20 0.20 0.05 0.24 0.22 0.32 0.68 - 0.50 0.30 0.33 0.33 0.25 0.50 0.25 - 0.33 0.33 0.33 0.33 0.33 0.33 - 0.40 1.00	- - - - - - - - - - - - - - - - - - -		3.0 3.6 2.6
3 日照阻害の抑制 3.0 0.30 -	3 LR3 1 2	非再生 2.1 2.2 2.3 2.4 2.5 2.6 3.1 3.2 敷地域现 2.1 2.2 2.3	1 雨水利用システム導入の有無 2 雑排水等利用システム導入の有無 性資源の使用量削減	塗料および床用接着剤に有害物質を含まない材料の使用	3.0 3.0 3.2 2.0 3.0 3.0 5.0 2.0 3.0 3.3 4.0 3.0 - 3.0 3.0 - 3.6 - 3.0 2.0 3.0 3.0 - 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0	0.67 0.33 0.63 0.07 0.24 0.20 0.20 0.05 0.24 0.22 0.32 0.68 - 0.50 0.50 0.33 0.33 0.25 0.50 0.25 - 0.33 0.33 0.33 0.33 0.34 1.00 - 0.40	- - - - - - - - - - - - - - - - - - -		3.0 3.6 2.6
3.3 光害の抑制 3.0 0.20 -	3 LR3 1 2	非再生 2.1 2.2 2.3 2.4 2.5 2.6 3.1 3.2 敷地域现 2.1 2.2 2.3	1 雨水利用システム導入の有無 2 雑排水等利用システム導入の有無 性資源の使用量削減	塗料および床用接着剤に有害物質を含まない材料の使用	3.0 3.0 3.2 2.0 3.0 3.0 5.0 2.0 3.0 3.3 4.0 3.0 - 3.0 3.0 - 3.6 2.6 3.0 2.0 3.6 - 3.0 3.0 - 3.0 3.0 - 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0	0.67 0.33 0.63 0.07 0.24 0.20 0.20 0.05 0.24 0.22 0.32 0.68 - 0.50 0.50 0.33 0.33 0.25 0.50 0.25 - 0.33 0.33 0.33 0.33 0.34 1.00 - 0.40	- - - - - - - - - - - - - - - - - - -		3.0 3.6 2.6
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策 3.0 0.70	3 LR3 1 2	非再生 2.1 2.2 2.3 2.4 2.5 2.6 3.1 3.2 敷地域现 2.1 2.2 2.3	1 雨水利用システム導入の有無 2 雑排水等利用システム導入の有無 性資源の使用量削減	塗料および床用接着剤に有害物質を含まない材料の使用	3.0 3.0 3.2 2.0 3.0 3.0 5.0 2.0 3.0 3.3 4.0 3.0 - 3.6 2.6 3.0 2.0 3.6 - 3.0 3.0 3.0 - 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0	0.67 0.33 0.63 0.07 0.24 0.20 0.20 0.05 0.24 0.22 0.32 0.68 - 0.50 0.30 0.33 0.25 0.50 0.25 - 0.33 0.33 0.33 0.33 0.40 1.00 - 0.40 0.70 -		- - - - - - - - -	3.0 3.6 2.6
	3 LR3 1 2	非再生 2.1 2.2 2.3 2.4 2.5 2.6 3.1 3.2 敷地域现 2.1 2.2 2.3	1 雨水利用システム導入の有無 2 雑排水等利用システム導入の有無 性質源の使用量削減	塗料および床用接着剤に有害物質を含まない材料の使用	3.0 3.0 3.2 2.0 3.0 3.0 5.0 2.0 3.0 3.3 4.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3	0.67 0.33 0.63 0.07 0.24 0.20 0.20 0.05 0.24 0.22 0.32 0.68 - 0.50 0.30 0.33 0.33 0.25 0.50 0.25 - 0.33 0.33 0.33 0.33 0.33 0.33 0.33 0.	- - - - - - - - - - - - - - - - - - -	- - - - - - - - -	3.0 3.6 2.6
2.U U.3U	3 LR3 1 2	非再生 2.1 2.2 2.3 2.4 2.5 2.6 3.1 3.2 敷地域现 2.1 2.2 2.3	1 雨水利用システム導入の有無 2 雑排水等利用システム導入の有無 2 雑排水等利用システム導入の有無 4 料使用量の削減 2 既存建築躯体等の継続使用 3 躯体材料におけるリサイクル材の使用 5 持続可能な森林から産出された木材 6 部材の再利用可能性向上への取組み 物質含有材料の使用回避 1 消火剤 2 発泡剤(断熱材等) 3 冷媒 外環境 温暖化への配慮 環境への配慮 環境への配慮 大気汚染防止 2 温熱環境悪化の改善 3 や媒 外環境 温暖化への配慮 環境への配慮 環境への配慮 環境への配慮 環境への配慮 (環境への配慮 (環境への配慮) (国際・振動・悪臭の防止 (国際・振動・悪臭の防止 (国際・大気) (国際・大力) (国際・大気) (国際・大力) (国際・大力) (国際・大力) (国際・大	塗料および床用接着剤に有害物質を含まない材料の使用	3.0 3.0 3.2 2.0 3.0 3.0 5.0 2.0 3.0 3.3 4.0 3.0 - 3.0 3.0 - 3.6 - 3.0 2.0 3.0 3.0 - 3.0 3.0 - 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0	0.67 0.33 0.63 0.07 0.24 0.20 0.20 0.05 0.24 0.22 0.32 0.68 - 0.50 0.50 0.33 0.33 0.25 0.50 0.25 - 0.33 0.33 0.33 0.33 0.33 0.33 0.33 0.	- - - - - - - - - - - - - - - - - - -	- - - - - - - - -	3.0 3.6 2.6
	3 LR3 1 2	非再生 2.1 2.2 2.3 2.4 2.5 2.6 3.1 3.2 敷地域现 2.1 2.2 2.3	1 雨水利用システム導入の有無 2 雑排水等利用システム導入の有無 2 雑排水等利用システム導入の有無 性性資源の使用量削減 材料使用量の削減 2 既存建築躯体等の継続使用 3 躯体材料におけるリサイクル材の使用 3 非構造材料におけるリサイクル材の使用 5 持続可能な森林から産出された木材 6 部材の再利用可能性向上への取組み 物質含有材料の使用回避 有害物質を含まない材料の使用 2 フロン・ハロンの回避 1 消火剤 2 発泡剤(断熱材等) 3 冷媒 外環境 温暖化への配慮 環境への配慮 環境への配慮 環境への配慮 大気汚染防止 2 温熱環境悪化の改善 3 や媒 外環境 温暖化への配慮 環境への配慮 環境への配慮 軽音・振動・悪臭の防止 1 騒音 2 汚水処理負荷抑制 4 廃棄物処理負荷抑制 4 廃棄物処理負荷抑制 5 廃棄物処理負荷抑制 6 廃棄物処理負荷抑制 7 原境への配慮 1 騒音 2 振動 3 悪臭 2 風害・砂塵・日照阻害の抑制 1 風害の抑制 1 風害の抑制 2 砂塵の抑制 1 風害の抑制 1 風害の抑制 1 風害の抑制	塗料および床用接着剤に有害物質を含まない材料の使用	3.0 3.0 3.2 2.0 3.0 3.0 5.0 2.0 3.0 3.3 4.0 3.0 - 3.0 3.0 - 3.6 2.6 3.0 2.0 3.6 - 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0	0.67 0.33 0.63 0.07 0.24 0.20 0.20 0.05 0.24 0.22 0.32 0.68 - 0.50 0.50 0.33 0.33 0.25 0.50 0.25 - 0.33 0.33 0.40 1.00 - 0.40 0.70 - 0.30 0.20 0.70		- - - - - - - - -	3.0 3.6 2.6

Page: 2/2 Sheet: 4/5

【八SBEE"熊本《新築》【配慮事項】

4 設計上の配慮事項

総合

外塀をもたない都市型拘置支所として計画し,通風性の向上,閉塞感や拘禁感の低減,職員や被収容者の執務・居住環境 の向上のため,中庭を有した計画とした。

Q1 室内環境

共同室、単独室共、収容居室として標準的な音環境としている。拘置所の標準的な断熱仕様としている。各居室ごとに外 光の入る窓を設け、換気が出来るようにしている。

Q2 サービス性能

機能的で清潔な環境が保たれるよう、拘置所の収容施設の仕様に沿った施設計画としている。建築基準法に定められた耐 震性を有し、設備の更新がし易い計画としている。

Q3 室外環境(敷地内)

建物を道路境界より後退させて配置し圧迫感を軽減するとともに、隣接する博物館や警察署の特徴のある外構デザインに 同調した外構・植栽計画とした。

LR1 エネルギー

太陽光発電パネルを設置している。集会室等の照明の昼光制御及び初期照度補正等の環境配慮型高効率照明器具を積極的 に採用している。常時使用しない部屋はセンサーによる調光型器具を採用している。衛生器具・水栓等は節水型器具を採 用している。

LR2 資源・マテリアル

リサイクル材を積極的に使用している。

LR3 敷地外環境

既存施設の建替えにあたり、周辺環境に対する騒音・振動・悪臭の発生を防止する計画としている。日影の影響を最小減とする。周囲の町並み景観に配慮した色彩計画としている。

その他

拘置所敷地の中で建設残土の転用を図り、敷地外への残土処分量を縮減する計画としている。

Page: 3/4 Sheet: 3/5

熊本県重点評価結果スコアシート

実施設計段階

■評価ソフト: CASBEE-NCb_2010(v1.3)_kmt2011(v1.0)

■使用評価マニュアル: CASBEE熊本《新築》2011年版

★熊本県重点評価結果					総合評価点		81.4	
重点事項					=37 /34 .E	重点事項	50 /35 X 1 LE	
	重点項目(配慮	武項目)	スコア	重み 係数	評価点	重み係数	評価配点	
1	① 温室効果ガス排出量削減の推進							
	Q1-2.1.3	外皮性能	3.0	0.05				
	Q1-3.1.3	昼光利用設備	5.0	0.05		0.40		
	Q1-3.2.2	昼光制御	4.0	0.05				
	LR1-1	建物の熱負荷抑制	2.0	0.15	90.7		36.28	
	LR1-2	自然エネルギー利用	4.0	0.20				
	LR1-3	設備システムの高効率化	4.1	0.30				
	LR2-2.1	材料使用量の削減	2.0	0.10				
	LR3-2.3.3	交通負荷抑制	5.0	0.10				
2	安全安心で暮らしやすい社会の実現							
	Q2-1.1.3	バリアフリー計画	3.0	0.25	_	0.20	13.50	
	Q2-2.1.1	耐震性	3.0	0.25				
	Q3-1	生物環境の保全と創出	2.0	0.15	07.5		13.30	
	Q3-3	地域性・アメニティへの配慮	3.0	0.20				
	LR3-2.2	温熱環境悪化の改善	2.0	0.15				
3	県の地域資源	の有効活用と保全						
	Q3-2	まちなみ・景観への配慮	3.0	0.20				
	LR2-1.1	節水	4.0	0.30	75	0.20	15.00	
	LR2-1.2.1	雨水利用システム導入	3.0	0.20				
	LR2-2.5	持続可能な森林から産出された木材	2.0	0.30				
4	循環型社会の	 実現						
	Q2-2.2	部品・部材の耐用年数	3.1	0.30				
	Q2-3	対応性·更新性	3.0	0.30	83.2	0.20	16.64	
	LR2-2.2	既存建築躯体等の継続使用	3.0	0.10	83.Z	0.20	16.64	
	LR2-2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	3.0	0.15				
	LR2-2.4	非構造材料におけるリサイクル材の使用	5.0	0.15				

■評価点算出式

評価点は、以下の方法により算出しています。

◆総合評価結果

総合評価点 = (各重点事項の評価点×各重点事項の重み係数)の総和 ※重み係数の総和は、「1」であること。

◆各重点事項(①~④の項目)

評価点 = (各重点項目のスコア×各重点項目の重み係数)の総和×(5/4)×20

※重み係数の総和は、「1」であること。

※(5/4)×20: スコア4点を評価点100点に変換するスケーリング定数

Page : 4/4 Sheet : 5/5